



## 子どもたちの意見を世界へ! 2009年J8サミット イタリア・ローマで開催



©UNICEF/NYHQ2009-1030/Caleo  
ラクイラで直接会合を行ったG8首脳陣とJ8代表の子どもたち

毎年、G8サミット（主要国首脳会議）では、金融危機、地球温暖化など世界各国が協力して取り組まなければいけない問題について各国首脳たちが討議します。そのG8サミットの子ども版サミットとして2005年にスタートしたのが、J8（ジュニア・エイト）サミットです。J8サミットでは、G8サミット参加国の子どもたちが参加し、G8で扱われる議題や国際問題を子どもたちの視点から議論し、G8首脳陣へ解決策を提出します。今年のJ8サミットは、7月4日～12日まで8日間にわたり、イタリア・ローマで開催されました。

### 子どもたちが希望を持てる将来を

今年のJ8サミットには、G8サミット参加国と同じG8国（カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、ロシア、英国、米国）に新興6カ国（ブラジル、中国、エジプト、インド、メキシコ、南アフリカ）を加えた計14カ国から54名の子どもたちが参加しました。日本からは、5月に行われたJ8コンテストで選ばれた渋谷教育学園渋谷高校の生徒4名が日本代表として参加しました。

子どもたちは、今年のJ8サミットの議題「経済危機下における子どもの権利」「気候変動」「アフリカにおける貧困と開発問題」に、子どもたち自身が選んだ「教育」を含めた4つの議題について、世界の仲間たちと意見交換を行いました。4日間にわたってプレゼンテーションやディスカッション、グループワークなどに取り組んだ子どもたちは、文化や言葉の壁に直面し、意思疎通が上手くいかず、討議では衝突することもありました。しかし、お互いが住んでいる環境の違いに驚いたり、考え方や価値観に新しい発見を見出しながら、皆、真剣に意見を交わしました。

そして7月9日に、各国から選ばれた代表1名ずつがG8サミットの会場ラクイラへ赴き、G8首脳陣に対し、問題解決のための提言をまとめた宣言文（ローマ宣言）を提出しました。

### ローマ宣言& アクションプラン完成!

宣言では、金融危機の状況にあっても、保健と教育に関す

るミレニアム開発目標の実現に向けて、財政的、技術的、人道的支援を増やすという子どもたちとの約束を果たすように求めました。また、現在、安全な飲み水が手に入らない12億人の人たちに目を向け、「BLUE」イニシアティブという水問題への対策を提案しました。そして、教育の問題を身近に捉えた子どもたちは、すべての子どもたちが教育を受けられるようにし、特に開発途上国の学校のインフラ整備に焦点を当てた事業の実施を支援してほしいと訴えました。

自分たちの行動計画として作成したアクションプランに基づき、子どもたちは、これから

各国にて自分たちにできることを実施し、報告し合っていくことを約束しました。来年のJ8サミットは、カナダで開催される予定です。



©日本ユニセフ協会  
J8日本代表。イタリア政府首相府で行われた開会式にて

### 2009年 J8コンテストへのご参加、 ありがとうございました!

2009年J8コンテストには全国28チームからの応募がありました。5月9日（土）ユニセフハウスで行われた最終選考会には、書類選考を通過したヘタレStars Jr.（静岡県）、マンマ・ミーア（愛知県）、ゆうLook（東京都）の3チームが参加しました。金融危機や貧困問題、地球温暖化について白熱した議論を展開し、どのチームも高い英語力と表現力、幅広い知識を発揮しました。

\*2010年J8サミットおよびJ8コンテストについては、10月初旬頃に当協会ホームページで案内する予定です。



©日本ユニセフ協会  
2009年J8コンテスト最終選考会のようす